



～ special ～

ヴィオラ & ピアノアトリウム コンサート

日時：平成30年11月15（木）
16：00～16：45

場所：国立国際医療研究
センター病院

地下1階アトリウム

☆J. S. Bach:
無伴奏チェロ組曲 第3番
BWV 1009 C-Dur (ヴィオラ
編曲版)

☆E. Ysaÿe:
無伴奏チェロソナタ op. 28
(ヴィオラ編曲版)

☆R. Vaughan Williams:
グリーンスリーブスによる幻想曲
その他

～special guest～

ヴァイオラ奏者 井上 典子



4歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学在学中にヴァイオラへ転向する。リヨン国立高等音楽院第3課程を審査員全員一致の最優秀で合格し渡仏、同課程を修了の後、ドイツのフライブルク音楽大学でも更なる研鑽を積む。

これまでに店村眞積、タッソ・アダモプロス、ヴォルフラム・クリストの各氏に師事。

フランスでのモーリス・ラヴェル・アカデミー賞の受賞で注目を集め、続いて京都芸術祭、カール・フレッシュ・アカデミーにて特別賞を受賞、アヴィニオン国際コンクールのヴァイオラ部門にて第3位を受賞。

2005年よりフランス国立管弦楽団のメンバーを務める他に、2013年から2015年までアルデオ弦楽四重奏団のヴァイオラ奏者を務め室内楽奏者としても活躍し、ヨーロッパ各地で演奏している。

ショーソン・トリオとのシューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」の録音に参加しミラーレ社よりリリースされている。

2016年より NJP・新日本フィルハーモニー交響楽団主席ヴァイオラ奏者

ピアニスト 小森 芳子



©Shigeto Imura

東京生まれ。桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学を卒業。兼松雅子、平尾はるなの各氏に師事。1997年渡仏。室内楽に魅せられブルーノ・カニーノ氏に学ぶ為、ベルン音楽院(スイス)にて修士課程ピアノ科修了。その後パリ国立高等音楽院にて修士課程室内楽科を卒業。C・イヴァルディ、A・ムニエ、A・フラメールの各氏に師事。在学中に LegYang 賞受賞、またソシエテジェネラル財団およびメイエ財団より奨学金を授与される。2001年G・ジネッティ国際室内楽コンクール(イタリア)第2位受賞。

伴奏者としての活動も多く、2001年よりパリ国立高等音楽院にてG・ビュッケ(チューバ)、I・モレッティ(ハープ)、H・ドゥヴィルヌーブ(木管楽器初見)の各クラスのピアニストを務める。その他2007年国際ホルンシンポジウム、ラ・ショードウフォン国際ホルンアカデミー(スイス)、フランス国立管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団などの公式ピアニストも定期的に務める。

またソリスト、室内楽奏者としてシャンゼリゼ劇場、シテ・ドゥ・ラ・ミュージック、アンバリッドをはじめとしてヨーロッパ、日本各地での演奏を行う。共演する演奏家は、S・ガゾー、F・クラマジラン、古澤巖、渡邊ゆづき、阿藤果林(Vn)、A・ムニエ(Vc)、M・ルティエック(Cl)、P・ピエルロ(Fl)、B・シュナイター、H・パウマン(Hr)、D・ワルター(Ob)、S・ラベリ(Tuba)と多岐にわたる。NHK、Mezzo(フランス)等のテレビ出演も数多く行う。後進の指導にも携わり、フランスではフレーヌ国際音楽アカデミーに於いて2015年より毎夏ピアノの教鞭を取る。